

村上市総合計画審議会 議事録

会議名	第7回 村上市総合計画審議会																																																																																				
年月日	平成28年3月25日(金) 14:00~15:30																																																																																				
会場	村上市役所 4階 大会議室																																																																																				
出席者	<p>【委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">荒川地区地域審議会</td> <td style="width: 20%;">会長</td> <td style="width: 30%;">会田 健次</td> </tr> <tr> <td>村上市観光協会</td> <td>会長</td> <td>浅野 謙一</td> </tr> <tr> <td>一般公募</td> <td></td> <td>板垣 真</td> </tr> <tr> <td>神林地区地域審議会</td> <td>会長</td> <td>大嶋 芳美</td> </tr> <tr> <td>朝日地区地域審議会</td> <td>副会長</td> <td>大滝 重秋</td> </tr> <tr> <td>村上商工会議所</td> <td>副会頭</td> <td>大滝 慎一</td> </tr> <tr> <td>一般社団法人村上市建設業協会</td> <td>会長</td> <td>加藤 幹司</td> </tr> <tr> <td>特定非営利活動法人おたすけさんぼく</td> <td>理事長</td> <td>加藤 英人</td> </tr> <tr> <td>一般社団法人村上市岩船郡医師会</td> <td>会長</td> <td>佐々木 誠司(欠席)</td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人村上市社会福祉協議会</td> <td>会長</td> <td>佐藤 芳男(欠席)</td> </tr> <tr> <td>新潟県村上地域振興局</td> <td>局長</td> <td>田辺 敏夫</td> </tr> <tr> <td>村上市地域農業活性化検討会</td> <td>座長</td> <td>忠 聡</td> </tr> <tr> <td>山北地区地域審議会</td> <td>会長</td> <td>富樫 保晴</td> </tr> <tr> <td>村上公共職業安定所</td> <td>所長</td> <td>長柄 肇 (欠席)</td> </tr> <tr> <td>村上市岩船郡PTA協議会</td> <td>理事</td> <td>八藤後 瑞枝</td> </tr> <tr> <td>村上地区地域審議会</td> <td>会長</td> <td>山口 治雄</td> </tr> <tr> <td>学校法人北都健勝学園新潟リハビリテーション大学</td> <td>学長</td> <td>山村 千絵(欠席)</td> </tr> <tr> <td>村上地域水産業再生委員会</td> <td>会長</td> <td>脇坂 三重城(欠席)</td> </tr> <tr> <td>一般公募</td> <td></td> <td>渡辺 ひろみ</td> </tr> <tr> <td>NPO法人希楽々</td> <td>ゼネラルマネージャー・副理事長</td> <td>渡辺 優子</td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">村上市 政策推進課</td> <td style="width: 20%;">課長</td> <td style="width: 30%;">渡辺 正信</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課</td> <td>参事</td> <td>竹内 和広</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課 企画政策室</td> <td>副参事</td> <td>田中 和仁</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課 企画政策室</td> <td>係長</td> <td>田村 政和</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課 企画政策室</td> <td>主査</td> <td>渡辺 真吾</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課 企画政策室</td> <td>主査</td> <td>大矢 透</td> </tr> </table> <p>【コンサルタント事業者】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">エヌシーイー株式会社 都市環境部</td> <td style="width: 40%;">土橋 佳代</td> </tr> <tr> <td>エヌシーイー株式会社 都市環境部</td> <td>中澤 元孝</td> </tr> </table>			荒川地区地域審議会	会長	会田 健次	村上市観光協会	会長	浅野 謙一	一般公募		板垣 真	神林地区地域審議会	会長	大嶋 芳美	朝日地区地域審議会	副会長	大滝 重秋	村上商工会議所	副会頭	大滝 慎一	一般社団法人村上市建設業協会	会長	加藤 幹司	特定非営利活動法人おたすけさんぼく	理事長	加藤 英人	一般社団法人村上市岩船郡医師会	会長	佐々木 誠司(欠席)	社会福祉法人村上市社会福祉協議会	会長	佐藤 芳男(欠席)	新潟県村上地域振興局	局長	田辺 敏夫	村上市地域農業活性化検討会	座長	忠 聡	山北地区地域審議会	会長	富樫 保晴	村上公共職業安定所	所長	長柄 肇 (欠席)	村上市岩船郡PTA協議会	理事	八藤後 瑞枝	村上地区地域審議会	会長	山口 治雄	学校法人北都健勝学園新潟リハビリテーション大学	学長	山村 千絵(欠席)	村上地域水産業再生委員会	会長	脇坂 三重城(欠席)	一般公募		渡辺 ひろみ	NPO法人希楽々	ゼネラルマネージャー・副理事長	渡辺 優子	村上市 政策推進課	課長	渡辺 正信	村上市 政策推進課	参事	竹内 和広	村上市 政策推進課 企画政策室	副参事	田中 和仁	村上市 政策推進課 企画政策室	係長	田村 政和	村上市 政策推進課 企画政策室	主査	渡辺 真吾	村上市 政策推進課 企画政策室	主査	大矢 透	エヌシーイー株式会社 都市環境部	土橋 佳代	エヌシーイー株式会社 都市環境部	中澤 元孝
荒川地区地域審議会	会長	会田 健次																																																																																			
村上市観光協会	会長	浅野 謙一																																																																																			
一般公募		板垣 真																																																																																			
神林地区地域審議会	会長	大嶋 芳美																																																																																			
朝日地区地域審議会	副会長	大滝 重秋																																																																																			
村上商工会議所	副会頭	大滝 慎一																																																																																			
一般社団法人村上市建設業協会	会長	加藤 幹司																																																																																			
特定非営利活動法人おたすけさんぼく	理事長	加藤 英人																																																																																			
一般社団法人村上市岩船郡医師会	会長	佐々木 誠司(欠席)																																																																																			
社会福祉法人村上市社会福祉協議会	会長	佐藤 芳男(欠席)																																																																																			
新潟県村上地域振興局	局長	田辺 敏夫																																																																																			
村上市地域農業活性化検討会	座長	忠 聡																																																																																			
山北地区地域審議会	会長	富樫 保晴																																																																																			
村上公共職業安定所	所長	長柄 肇 (欠席)																																																																																			
村上市岩船郡PTA協議会	理事	八藤後 瑞枝																																																																																			
村上地区地域審議会	会長	山口 治雄																																																																																			
学校法人北都健勝学園新潟リハビリテーション大学	学長	山村 千絵(欠席)																																																																																			
村上地域水産業再生委員会	会長	脇坂 三重城(欠席)																																																																																			
一般公募		渡辺 ひろみ																																																																																			
NPO法人希楽々	ゼネラルマネージャー・副理事長	渡辺 優子																																																																																			
村上市 政策推進課	課長	渡辺 正信																																																																																			
村上市 政策推進課	参事	竹内 和広																																																																																			
村上市 政策推進課 企画政策室	副参事	田中 和仁																																																																																			
村上市 政策推進課 企画政策室	係長	田村 政和																																																																																			
村上市 政策推進課 企画政策室	主査	渡辺 真吾																																																																																			
村上市 政策推進課 企画政策室	主査	大矢 透																																																																																			
エヌシーイー株式会社 都市環境部	土橋 佳代																																																																																				
エヌシーイー株式会社 都市環境部	中澤 元孝																																																																																				
[進行]事務局	<p>1. 開会 〈欠席委員の確認〉 ・佐々木委員、佐藤委員、長柄委員、山村委員、脇坂委員の5名が欠席。</p>																																																																																				
忠会長	<p>2. 会長挨拶 〈あいさつ〉</p>																																																																																				

[説明]事務局	<p>3. 報告 (1) 基本構想の作成手順について (資料1)</p> <p>※質問なし。</p>
[説明]事務局	<p>(2) ワークショップのまとめについて (資料2)</p> <p>※質問なし。</p>
[説明]事務局	<p>4. 議事 (1) 基本目標について (資料3) 【一部予備提起】</p>
[説明]事務局	<p>〈1. 産業・経済分野〉</p>
加藤英人委員	<p>農業と林業に関して、まずグリーンツーリズムの推進です。漁業でいうと、マリンツーリズム、海を利用したツーリズムも入れたほうがいいのではないかと思います。</p> <p>観光においては、生きる業、生業と被るかもしれませんが、技と人も資源ということで、本当は何をするにしても人だと思えます。キーワードとして、加えたほうがいいのではないかと思います。</p>
忠会長	<p>おっしゃるように、農産物も地域で取れたものは、それなりに特徴があるとは言うものの、やはりお客様が何を求めているかということ、誰が作ったかということに必ず入っていきます。確かに人というのは大きなキーワードになるかと思えます。</p>
加藤幹司委員	<p>建設業は村上市の GNP2,100 億円のうちの 10%以上を担っており、経済的な活動、影響としては、かなり大きな部分を担っていますが、ここにうたいこまれていません。我々の産業は 1.5 次産業ということどこに分類されるか分からないのですが、あえて言えば商工業だと思います。</p> <p>商工業の中で、私は伝統建築物の維持、補修が、これから村上では大きな観光要素になってくるだろうと考えます。併せて堆朱など、古きよき文化の伝統を維持するというような項目をどこかに織り込んでいただきたいと思えます。</p>
忠会長	<p>確かに、建設関係の部分は、なかなか文字として出ていないようです。伝統ある建築物とか、構造物についての維持、管理、保存というものに対する配慮もあってしかるべきと思えます。</p>
会田委員	<p>農業、林業の項目で、地域の特産の振興と申しますか、これはブランド力の強化のところに入るものなんでしょうか。ここで言うのはどういった内容でしょうか。例えば、荒川であれば球根が特産です。そういった特産の振興が必要かと思えます。それから、商工業のところ、中心市街地の活性化というのは、一般的にどこを特定しているのか。村上の中心街なのか、それとも各地区の中心地なのか。それをお聞きしたいと思います。</p>
事務局	<p>中心市街地については、皆さんから出た意見の中で、私ども推察が足りませんが、この中では村上地区と荒川の方を指していると思えます。</p>
板垣委員	<p>農林業の木育という部分で、木に親しむ育児と書いてあるのは間違いではな</p>

事務局	<p>いのですが、どちらかというと言育児というよりは、木と触れ合う環境づくりとか、触れ合う教育環境、そういった類いのところが、木育という大きい意味になります。育児に限定して書くのはどうかと思います。</p> <p>皆さんからの意見の中で木育という言葉が出ておりました。木育を調べますと、親しむ育児ということで一般的にはあるようですが、確かに育児だけではないと思います。どちらかという、教育面も含めた木に親しむ取り組み全般を指すと思います。</p> <p>ただ、農業のほうに入れるというのは、小さいころから木に親しんで林業の担い手になってほしいという願いが入っていると捉えましたので、こちらに木育とさせていただきます。</p>
事務局	<p>全般的なのですが、最終的に基本目標として出てくるものは、最終的には予備提起の部分です。今、皆さんから出しているキーワードは、説明の中で出てくる可能性はあります。発想を広げていただくためのキーワードとして、今、いろんなご意見をいただいていると捉えていただきたいと思います。</p>
渡辺優子委員	<p>観光の資源がたくさんあります。でも、資源の連携不足というところで、この前ワークショップで資源のコーディネートとかマネジメントという部分が出てきたと思うので、経営的な視点でのそういったワードも必要ではないかなと思います。</p>
[説明]事務局	<p>〈2. 環境・都市形成分野〉</p>
加藤英人委員	<p>皆さん、自然環境が豊かだという意識があると思うのですが、やはり人がかかわって保全する。保全には、いろんな人たちと一緒にやるということで、保全交流の推進というものが結構大事なのではないかと思います。</p> <p>そして道路は、付属施設ですが、特に外国人向けのサイン関係が不足という声をよく聞きます。ですから、これはサインの充実が必要です。交通に関しては、公共交通の整備と言ってしまうとそれまでなのですが、整備しても利用しないとどうしようもないので、やはり利用しやすいというのがキーワードになると思います。</p>
山口委員	<p>自然環境の方で、保全・保護ということは説明のほかに入っているのですが、文言として固有の生物が出てきた以上、存在ではなくて、保全保護という明確な方向性を出していったらどうかと思います。</p>
[説明]事務局	<p>〈3. 教育・文化分野〉</p>
渡辺優子委員	<p>課外、校外活動というところですが、校外としての部活動であったり、または放課後教室など、スポーツクラブに大変期待していただいているのでありがたいことです。しかし、校外活動であっても学校との連携は切り離せないもので、学校と連携を図りながら活動を実施するというところで、学校との連携も必要ではないかと思います。</p>
会田委員	<p>社会体育の関係で、スポーツの振興というのはどういった課外活動に入るのでしょうか。このスポーツクラブの期待というのはそれとはまた違うと思うのですが、スポーツの振興というのは、ここに入らなければならないと思うのですが、いかがでしょうか。</p>

事務局	<p>生涯学習の方に込めたつもりです。確かにスポーツという字がないので、加えておきたいと思っております。</p>
渡辺ひろみ委員	<p>教育の高度化というものが出ているのですが、学校の内部だけでの高度化という意味なのか、そうではないのか気になるところです。学校内だけで高度化しようと思っても難しいという気持ちがあります。例えば、民間の塾などに協力してもらって、学校の教育レベルを上げていくような高度化を考えてもいいのかと思いました。</p> <p>それから、生涯学習について、市民が学び合う環境づくりということだけではなくて、市民が学んだことを活かして何か市に還元できる、参加できるような環境づくりも大切と考えます。</p>
事務局	<p>教育の高度化という中で、学校をメインに考えていた部分があります。確かに塾だけではなくて民間のもので活用、もしくは協力できるようなものがあれば模索していかなければいけないと思います。そういう意味では地域との連携というのが重要な部分と思われまます。また考えさせていただきたいと思ひます。</p>
加藤英人委員	<p>学校教育に、「学校と地域のかかわりの重要性の認識」とありますが、少し分かりにくいです。そして家庭という部分が落ちています。「学校、家庭、地域のつながり」という方が分かりやすいのかもしれない。認識してどうなのだという部分もありますので、単純にその方が現状に合っていると思います。地域の子どもは地域みんなで育てるといった教育の精神にのっるとそんな感じかなと思います。</p> <p>それと歴史文化のところの誇りです。これはあくまでも例示だと言えはそうなのですが、もう少し、村上市内を全部統括できるような方がいいと思ひます。</p>
田辺委員	<p>学校教育のところで、「学校と地域のかかわり」とありますが、かかわりというよりは、地域に住むことの意義をしっかりとすべきだと思ひます。小学校は歴史教育をやっていますけれども、中学校になるとどちらかというは高校の予備校のようになっていて、高校だと大学になります。地域に住むことの意義というものをしっかりと中学生、小学生のうちから学んで、最後には村上に帰ってくるという、村上に住むことの意義というものを、しっかりと学校教育の場で特に中学生の段階からやるのが必要だと思ひます。</p> <p>キーワードのところで「故郷を思う気持ち」ではなくて、「故郷に住む気持ち」がいいと思ひます。ただ思うだけではなく、住むという気持ちを教える。それが必要だと思ひます。</p>
忠会長	<p>人口減少で高校を卒業するとどこかへ行ってしまつて、特に女性の方々は戻ってこないということがさらに人口減少に拍車をかけている、という前回の話を思い出しました。まさにそこが大事なところだと思ひます。</p> <p>学校再編の話もあります。これは地域内の小中学校だけではなくて、高校レベルでも県の教育委員会の方針が出ました。この地域では、市外からこちらまで通ってくださる学生もいると聞いております。そういった流入する人口あるいは生徒にも、目を向けた取組が必要なのではないかと思ひます。</p>
板垣委員	<p>教育文化について、市内では現在、緑の少年団が2つ活動していますし、それと別に旧村上では健民少年団があると思ひます。公的なお金もそこには投入されていますし、年間を通じて四季それぞれ各地区に分かれて、いろいろな自然</p>

事務局	<p>体験の教育プログラムがあって活動されています。年に1回、5月には荒川の総合運動公園で一堂に会して植樹活動も継続的に何度も行っていますし、NHKの県内放送等でも、かなり紹介されているところです。それらについてのキーワードは必要ないのでしょうか。</p> <p>少年団の活動については、スポーツ少年団も同じようにスポーツに特化した活動をされていますし、おっしゃるとおり健民少年団、緑の少年団は似かよった活動をされている部分があります。所管が教育委員会でやっているのですが、大元の所管が農林水産省であったり、健民少年団は、民間組織だと思いますが、社会教育系になります。この中で歴史文化に入れた方がいいのか、課外活動に入れればいいのか、今の段階でははっきりしませんが、そういった取組、子どもたちを地域で支える取組というものも入れていきたいと思います。ボランティアもかなり大人が入っていますので、そうした活動も考えて入れていきたいです。</p>
田辺委員	<p>先ほどの予備提起で、薫だけではなくて、「担う」とか「はぐくむ」といった、積極的な言葉が欲しいです。薫だけではなくて、もっと積極的な取組ということで、担い手も含めて、そういう表現がいいのかなという気がしました。</p>
八藤後委員	<p>一保護者として、家庭教育が忘れられています。自分も含めて、保護者で家庭教育を重要視していないところがあるので、そこを入れてもらえるといいと思います。</p>
忠会長	<p>先ほど、加藤委員から、学校と地域、そこにはしっかりと家庭も位置づけるべきだというお話だったかと思います。それと関連したご意見ということにさせていただきますかと思えます。</p>
渡辺ひろみ委員	<p>すこやか郷育のまちづくりということで、郷育が大切だということは非常によく分かるのですが、家庭教育がこの中で抜け落ちているというのを感じますし、子どもにやさしいというか、子育てしやすいまちづくりという文言が入ったらいいのではないかと感じました。</p>
事務局	<p>(3) につきましては、教育や文化のカテゴリーの中ですので、子育てのラインにつきましては、健康福祉分野という気がしています。似かようなことはどうしてもあることなのですが、施策や目標をまたぐ部分もどうしても出てきます。ただどちらかに思いをまとめていくのかという作業も必要なものですから、その中で整理をさせていただきたいと思えます。</p>
[説明]事務局	<p><4. 健康・福祉分野></p>
渡辺優子委員	<p>子育てのところで学童保育の充実ということが書いてあります。これは福祉の視点での学童保育の充実ということだと思いますが、学童保育については、その中でスポーツを取り入れられないかとか、いろいろなプログラムができないかという声がたくさんあります。</p> <p>そう考えると、前述の教育分野の放課後活動などと連携をすることでこの学童保育をさらに充実していくことができると思います。どのように表記しているかわかりませんが、学童保育についてはこの福祉以外の視点も含めて考えた方がいいと思っています。</p>

事務局	<p>組織の体系として、渡辺委員のご指摘はごもっともだと思います。村上は福祉で学童をやっていますけれども、学校教育は教育分野で、学童でやっている自治体の方がおそらく多いのではないかなと思います。その流れが広まりまして、子ども課のような、子どもは全部まとめようというような流れであります。</p> <p>今回の総合戦略の基本の部分は、そのような課の振り分けの機能も全然なっておりませんし、組織の再編的なものは29年度に予定しております。今の段階ではこのようなすみ分けをさせていただきます。組織の再編が見えてくれば変更は可能なのですが、少し時期がずれます。ただし、表現の中で連携は大事だという部分は十分加味させていただきます。また組織の再編が間に合わない場合は、枠組みとしてはこのまま進めさせていただきますし、表現では配慮させていただきたいと思います。</p>
渡辺ひろみ委員	<p>子育て分野なのですけれども、保護者への支援ということで、妊娠期からの切れ目のない支援ということをぜひお願いしたいと思います。また、健康分野で増加する精神疾患への対応ということがあったのですが、若い世代の患者の方が多く増えています。そういうことから考えると、市として大きな課題だと捉えて、疾患を発症させないための手立て、予防的な対策を講じるべきだと思います。そして、発症した際の受け皿だったり、職場復帰するためのカリキュラムづくりということをぜひやっていただきたいと思います。</p> <p>障がい者を持つ家族のための支援をぜひお願いしたいと思います。障がいを持っている家族の方の施設が動いているときは大丈夫ですが、休日の受け皿がないということで困っていたり、学校が休みのときに学童的なものがないということで困っている方が多いので、ぜひ考慮した内容にさせていただけるとありがたいです。</p>
事務局	<p>1点目の妊娠期からの支援は、総合戦略の中できちんと掲げています。</p> <p>2点目の指摘は、法律で計画をつくるのですが、正直まだ行政内部がきちんと体制を組んでいないと考えています。ただし、仕組みとして、つくりあげの方針ができています。2次計画ではきちんとどうたわないと駄目なのかなという意識はあります。</p> <p>3番目の障がい者を持つ家族の支援は、以前、障がい児の休日の学童の要望が出たことがあります。今その要望がどうなっているのか、承知しないのですが、声としてあることを重々理解しております。何らかの形で入れるかどうかよりも、これからどういうふうにするか、何をやるのだという今のようなご意見もいただければありがたいと思います。</p>
加藤英人委員	<p>高齢者のところですが、元気な高齢者というのが大事だと思います。何ををもって元気かというのは、いろいろな形があろうかだと思います。高齢者の人たちが活躍する場をつくってあげたいというのもそうですし、その辺も含めてもいいのではないかなと思います。</p> <p>子育てのところの病児病後児保育の必要性とありますが、やはりこの要望が多いのが未満児、休日保育です。未満児は特にお産が終わって、産休明けが年度の途中だとすぐに預かってもらえない部分があります。これはすぐに解消できる問題ではないかもしれませんが、若いお母さんたちの働く意欲が満々でも受け入れ体制がないとなかなかスムーズにいかないと思いますので検討課題かと思えます。</p>
事務局	<p>未満児の保育につきましては、今、金屋小学校、保育園等で未満児を預かる交渉等を進めております。施設の問題もありますが、ニーズとして高い部分を</p>

	<p>占めておりますので、こういった形になるか分かりませんが、高いニーズに応えられるような体制づくりを盛り込んでいく必要があるのかなと感じております。検討して、次の計画に盛り込んでいきたいと思っています。</p>
田辺委員	<p>健康分野で医師の不足となっていますけれども、これは幅広く、看護師、リハビリの療法士など、医療従事者の不足ということで幅広く考えた方がいいと思います。</p>
[説明]事務局	<p>〈5. 安全・安心・防犯分野〉</p>
板垣委員	<p>消防・防災について、消防団の担い手不足とあるのですが、これは単純に消防団員の不足だと思えます。さらに別団体があるということではないと思えます。</p> <p>昨今の水害や地震も、ここには地震という文言はないのですが、避難所の選定が遅れていると思うのです。漠然と避難所という看板があるのですが、例えば、どこに逃げたらいいか分からないというところがあります。避難という言葉がいいのか、避難所がいいのか。それがないと、一時的にも「いのちを守る」という可及的な、何かあったときのすぐ守ってくれるものが、どこにもうたわれていないとちょっと抽象的だと思えます。</p>
事務局	<p>消防団員は訂正させていただきます。</p> <p>大災害の備えのところは、括弧の中の「土砂災害、洪水、津波」ということで、災害の名前が書いてあって何をやるかが全然書いていません。ハード的な部分、それからソフト的な部分ということで、大災害に備えて何をやるのだという表現に変えた方が、思いが伝わりやすいかなと思います。検討させていただきます。</p>
加藤英人委員	<p>防災の部分で、防災教育の充実を入れていただけないかと思えます。県の復興基金でも補助を出す制度がありますので、子どものうちから防災意識を高めるということで防災教育が大事かと思えます。</p>
[説明]事務局	<p>〈6. 市民参画と自治、行政運営分野〉</p>
会田委員	<p>最近、人口減少問題などで各集落の自治組織は、高齢化によってあるいは担い手不足によって、なかなか運営が困難になっている状況が多くあると思えます。中には消滅する集落も出てくるような状況にあるように思えます。自治組織への手助け、支援などをここに何とか掲げてはどうかと思えますがいかがでしょうか。</p>
忠会長	<p>地域の実情のお話がありますが、集落の役員のなり手がなく、どこの消防団も、子どもが入ってくるまで消防団員になっているようなところがよくあります。それと似たような集落、自治が現状としてはあるかと思えます。いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>今、市が取り入れています地域おこし協力隊は地域のもので、それから、国の制度としては地縁制度というものもございます。</p> <p>先ほどの話でも集落支援という言葉は出ていますし、実際、総合計画の基本計画づくりで今の視点から言えば集落支援という言葉をちゃんとテーブルに乗せなければならないと思えます。ただ、ここに書き込みますと、市がやるとい</p>

	<p>うことになりますので、検討はしなければなりません。</p>
富樫委員	<p>この地域の担い手不足とか、市民参加意識の不足というような表現ではなくて、もっと対策を講じるような表現にしたらいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>これは皆さんから視点としていただく部分になりますので、これを受けて個別の基本計画のもっと深い部分に入ってまいります。その中でそうした視点をどうクリアしていくか、どう支えていくかというものを書いていきたいと思えます。現段階ではそのエッセンスというか、基本的にその視点として私たちが捉える部分ということにさせていただきたいと思えます。</p>
山口委員	<p>今、皆さんがお話しされているのは、実はまちづくり協議会の責務です。予備提起、この文言が協議会に課されている大きな仕事だと私は感じております。そのようなことから、まちづくり協議会との連携と極端に書くとおかしな話になっていくと思うのですが、その辺の連携というところを徐々に充実させていくということを付け加えることはできないでしょうか。</p>
事務局	<p>スタンスとしては市民協働のまちづくりといいながら、表現がまちづくり協議会の支援強化という言葉になっています。スタンスそのものはどうなんだというのもあると思えます。今の委員の意見を含めまして、表現を検討させていただきます。</p>
板垣委員	<p>まちづくり協議会単体の支援もそうですし、男女性別、世代間の交流というものもあります。この間、ワークショップでも話が出たのですが、地域間交流というものについての文言を入れてみてはどうかと思えます。県内最大の広域の市でありながら、市全体の一体感、醸成感がまだ少し不足しているのではないかとこの間も思えます。先ほどから話が出ている限界集落や消滅集落、そういった担い手不足も地域間交流によってある程度補える部分が、いろんなところで実践済みです。それをご検討いただければと思います。</p>
加藤英人委員	<p>まちづくり協議会に関しては、まちづくり協議会同士のつながり、連携を今までとっていなかったということで、それぞれ自分たちの活動を進めてきたけれども、立ち返ってお互いに連携を取るべきではないかというのが、よく言われます。</p> <p>それと村上市も小規模多機能自治体のネットワークに参加したということなので、その辺もこれからいろんな小さい集落なり、限界集落なりの課題解決につながると思えますので、それもキーワードかと思えます。</p> <p>一番最後の行政という部分は、生涯学習とはまた違った様々な活動を含めて、市民活動支援センターが欲しいです。1次のは蹴られましたけれども、生涯学習だと学習というのがなかなか、敷居が高いので、いろんな活動を支援してくれるという部分では必要なのではないかと思います。これは、結構あちこちに、いろんな自治体にあります。村上にないのが不思議なくらいです。</p>
忠会長	<p>ありがとうございました。まだいろいろご意見があるかと思いますが、まずは6つの分野についてご意見をいただいたところです。6つに分けてみましたがどうでしょうか。まずはこの6つに、取りあえず定義をさせていただいて、今日いただいた議論をさらに深めていただくということになります。</p> <p>それぞれの分野にまたがる、かかわる課題・項目もたくさんあるわけです。先ほど加藤委員からそれらを網羅するような行政の考え方もあっていいのでは</p>

<p>[説明]事務局</p> <p>忠会長</p>	<p>ないかというご意見もございました。それらを踏まえて、事務局の方でよく整理をして、次につなげていただければと思います。</p> <p>1 番目の基本目標についての議論はこれにて閉じさせていただきたいと思いをします。</p> <p>(2) 平成 28 年度のスケジュールについて【修正】(資料 4)</p> <p>このスケジュール案でよろしいですか。今日、いろいろご意見をいただいた中にも、具体的に突っ込んだ議論というのも意見としてありました。ご覧いただいたように基本計画というところでしたっきりとした議論をさせていただきたいと思いをしますし、その前に、4 月、5 月で今日いただいたことを踏まえながら、基本構想をまとめていきたいというスケジュールです。よろしいですか。</p> <p>(「はい」という声あり)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、原案のとおり、このスケジュールに基づいて今後進めるということで決定させていただきたいと思いをします。改めて、1、2 を通してご意見ご質問があればお聞きしますがよろしいでしょうか。</p> <p>ご意見がないようであれば、4 番目の議事をこれにて解きたいと思いをします。大変ありがとうございました。</p> <p>5. 次回審議会について</p> <p>※会長と事務局で日程調整し、後日各委員に報告することとした。</p> <p>6. その他</p> <p>※特になし。</p> <p>7. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
---------------------------	--